

単元 の 評 価 規 準	(知識・技能) 10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。	(思考・判断・表現) 集合の要素の個数に着目し、数の意味や数の大きさの比べ方、数え方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現することができる。	(主体的に学習に取り組む態度) 集合の要素の個数をもとに数の意味や構成、数え方を考えたことを振り返り、学習したことを生活や学習に生かそうとしている。
時	主な学習内容	学習を関連付ける着眼点	各時間の評価規準 (主に□の評価を記録する)
14	単元の振り返り		【態度】数詞と要素を1対1対応させて個数を数で表すことの良さに気づき、いろいろなものの数を数えようとしている。
13	空集合としての0を理解する。		【知・技】具体的な場面に即して1つもないことを0と表すことを理解している
12	ゲームを通して、1～10までの数の構成や大小の感覚を養う。		【知・技】数の大小比較をすることができる。
8 9 10 11	半具体物を用いて6～10の構成を考える。		【思・判・表】6～10の構成に着目して数をほかの2つの数の和として捉え、表現している。 【知・技】6～10の構成を理解しいくつといくつとで表すことができる。
6 7	6～10のものの個数を数えることと数字の書き方を理解する。		【思・判・表】要素の個数に着目して、個数を数え、同じ数の集合を捉えて表現している。 【知・技】6～10の数字の書き方を理解し、数字を書くことができる。
5	半具体物を用いて5の構成を考える。		【思・判・表】5の構成に着目して5をほかの2つの数の和として捉え、表現している。 【知・技】5の構成を理解し5はいくつといくつとで表すことができる。
4	1～5の数について具体物・半具体物・数詞を関連付ける。		【思・判・表】ものの数に着目し、5までの数のものを探し、表現している。
2 3	1～5のものの個数を数えることと数字の書き方を理解する。		【知・技】1～5の数字の書き方を理解し、数字を書くことができる。 【思・判・表】数詞と要素の1対1対応で末尾の数詞が要素の個数を表していることを理解し、数を数えることができる。
1	1対1対応による集合の要素の多少や相当の比較を行う。		【知・技】1対1対応による集合の要素の個数の比べ方を理解し、個数を比べることができる。

・ものの特徴に着目して集合をつくられているか
・集合の要素の数を正しく表したり、比べたりできるか
「なにがなんこ」